

総合科学実験センター

- 研究設備・機器が集約化され、機器共用システムの中心組織
- 企画・立案，施策実施，小委員会メンバーとして参画

機器を扱う各学部等

- 研究機器の集約化・共用
- 共用機器の登録の推進



リサーチファシリティマネジメントセンター（令和3年1月設置）

- センター長：学術研究担当副学長
副センター長：人事労務・財務施設担当副学長
事務局：4名
- 全学の共用機器のマネジメントを行う統括部局，委員会事務局を担当
 - 研究基盤として戦略的に導入・更新・共用する仕組みを強化
 - 共用化指標による評価制度の確立
 - 戦略的な整備計画制度の導入
 - 二重投資回避のための導入機器審査 等

事務局（財務，人事）

リサーチファシリティマネジメントセンターの運営に参画

【財務担当】

- 整備計画，マスタープランの作成
- 利用料金の設定，資金計画の作成 など

【人事担当】

- 技術職員の新職階制度の構築
- 人事ローテーションによる人材育成 など

総合技術部（令和3年4月設置）

- 総合技術本部長：学術研究担当副学長
組織：技術職員を集約・組織化して全学化
体制：総合技術部長，5課長を管理職として配置（9グループ体制）
- 学内の技術職員のスキルアップ・技術伝承を行い，研究力の向上を支援
 - 専門性を生かして，管理運営やコアファシリティの計画策定に参画
 - テニユアトラック制度による優秀な若手人材の確保

コアファシリティ全学協働体制の整備

山口大学の研究力の向上

- 研究設備・機器の維持とアップデートによる研究環境の整備
- 技術職員によるサポートのシステム化による教員の研究専念時間増加及び高インパクトファクター論文の増加
- 技術職員の継続的なスキルアップによる支援技術の向上と活性化
- 学外ネットワークの確立と利用促進による地域の研究レベル向上，教員の活性化及び外部資金の獲得

